

教科	科 目	単位数	学年・クラス
数学	数学Ⅱ	4	2年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	新編 数学Ⅱ
出版社	数研出版
副教材等	新課程チャート式 解法と演習 数学ⅡBC
出版社	数研出版

2 学習の目標

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 授業内容を理解し、基本的な知識・技能を身に付ける。 2 演習問題を解くことで、既習事項の理解を一層深める。 3 日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。 |
|--|

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	既習事項と関連付けて新しい知識を習得し、簡単な事象について数学的に解釈したり処理したりしようとしている。
② 思考・判断・表現	各分野の新しい知識やその性質を理解し新たな定理や数学的な特徴を考察している。
③ 主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程で数学を活用しようとしたり数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	B	A	C	総合的な出来
小テスト	A	B	C	既習事項を身に付けているか
レポート	C	C	A	提出内容
週末課題・長期休業課題	B	B	A	提出内容

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	既習事項を応用して多項式にも適用できることを学ぶ。 数学的な考え方、論理的思考法の根幹を学ぶ。 2次方程式が常に解を持つように、実数から複素数の世界に広げて考えることができるようになる。 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を理解する。
2 学期	第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	三角関数についての理解を深め、それらを日常の具体的な物事に活用する。 高校で初めて学習する指数・対数に興味を持ち、理解を深める
3 学期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法 1年間の復習	微分・積分の考えを理解し、それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようになる。